

企画展  
紹介

## コロナと新聞広告展

2021年8月7日(土)～9月11日(土)

アドミュージアム東京では、夏の特別企画展として、新型コロナウイルスと向き合ってきた広告コミュニケーションを紹介する展覧会「コロナと新聞広告展」を開催しました。

本展では、即時性があり信頼感を持って人々に直接届けられる新聞というメディアに着目。2020年3月から2021年6月までの全国紙・地方紙に掲載された新聞広告の中から108点を時系列に沿って現物展示しました。また、来館者が自由に閲覧できる非接触型デジタルアーカイブでは、413点の新聞広告を紹介しました。

展示の最後には「みんなの声でつくるアフターコロナ 希望の新聞広告」と題した来館者の声でつくる体験型インスタレーション・コーナーを設置。これは「コロナが収束したらやりたいこと」を音声入力して、新聞15段広告を模したデザインに来場者のみなさんの希望を集めるというもので、コロナ禍の中で訪れた方々に明るい気持ちになっていただけたようにしました。

今もなお変化し続ける新型コロナウイルスを取り巻く状況と新聞広告をリンクさせることで、広告コミュニケーションの役割や価値、あるいは新しい日常生活との向き合い方など、来館者それぞれの視点から考えを深め、自由に感じ取ってもらうことができる展示にすること



展示風景



来館者の思いを集めてつくった体験型インスタレーション「みんなの声でつくるアフターコロナ 希望の新聞広告」



新聞広告デジタルアーカイブ閲覧コーナー。413点のコロナ関連の新聞広告を非接触で閲覧することができた

「クリエイターの本棚第6弾:角田誠 書くための栄養になる ことばのごはん」は、コピーライターの発想法に触れられた企画



ができました。

またライブラリー「〇〇の本棚」コーナーでは、本展示のディレクションを務めた角田誠氏の選書による書籍展示「クリエイターの本棚第6弾:書くための栄養になる ことばのごはん」を開催。角田氏の推薦図書28点を展示しました。数多く

の名コピーを手掛けた角田氏の“血肉となった”書籍について本人が語る動画、コピーライター視点からの書評とともに、これまで手掛けられた作品を展示し、その発想の源を垣間見ることができるコーナーとなりました。

次回の  
企画展

## TCC賞展2021

2021年10月2日(土)～11月13日(土)

本展では、コピーの最高峰を選ぶ広告賞「TCC賞」(東京コピーライターズクラブ)の2021年度受賞作品を紹介します。TCCグランプリに選ばれた、大塚製薬のカロリーメイト「見えないものと闘った1年は、見えないものに支えられた1年だと

思う。」(福部明浩/catch)、TCC最高新人賞に選ばれた、上田安子服飾専門学校の学園紹介ラジオCMほか「服の概念がない下谷さん」(小堀友樹/電通関西支社)など、グランプリ1作品群、TCC賞14作品群、最高新人賞1名、新人賞18名、審

査委員長賞3作品の各受賞作品をご覧ください。

会期中はライブラリーにて連動企画「コピーライターの本棚」を開催。コピーライターの愛読書、おすすめの本を選出者のコメントとともに紹介します。